

暮らし+リンク

「暮らし+リンク」は、天然住宅の情報や活動報告、みなさまが持っている情報を発信し、“健康的な暮らしの交流の場”となることを目指して作ったニュースレターです。このニュースレターを通じて、皆様のお役に立てる素敵な情報をお届けしたいと思います。ぜひ、読んで楽しんでください。

ご意見、ご感想、掲載希望の情報もお待ちしています！！



■お住まい見学会 開催報告 ①

7月27日 千葉県市川市 U様邸お住まい見学会



当日は猛暑の中、20名近くの方にご参加いただきました。ありがとうございます。建主のU様のご協力のもと、住み始めて約2年のお宅を見学させていただきました。約24坪のL字型のお宅です。1F 仕事部屋天井付近にある梁材は、建築にあたって栗駒ツアーに参加していただき、伐採していただいた木材です。

U様が天然住宅を建てるきっかけとなったのは、お子様のアレルギーでした。お子様は2人とも症状が重く、「子供たちが痒くて起きるので、一晩ぐっすり眠れる事がなかった」といいます。薬や食事、身のまわりの様々なものに気をつかい、やっとたどり着いたのが「家」でした。

一日の中で、体に取り入れるものの大部分は「空気」です。重さで食べ物の5.5倍。食べ物もちろんですが、「空気」はそれ以上に気を使わなければいけません。それなので天然住宅は素材選びを徹底して行います。

「この家に住んで初日、子供が生まれてから初めて一晩ぐっすり眠れた」とU様は話してくれます。そして、「おもしろいのは、子供たちが家に初めて入ったとき、子供たちが真っ裸になって走り出した」のだそう。子供は大人よりも化学物質への許容量が小さく、肌触りや空気感に敏感に反応します。今では、段々と薬の量も減り、喘息の薬もほぼ使わなくなりました。合気道を習い、毎日元気に暮らしているそうです。

今回おじゃましたところ、庭の畑に夏野菜がたくさんなっていました。「家族みんなで小さい循環を感じている」のだそうです。

U様ご家族は素敵な生き方をしているなあと感じます。いつも子供達と同じ目線で一緒に学び、真面目で誠実な勉強と行動力があり、それがゆっくり、でも着実に、実を結んでいるように感じます。そしてその生き方の中に天然住宅があることをとても嬉しく、誇らしく思います。(田中竜二)

目次

- お住まい見学会 開催報告
- 暮らし+リンクセミナー 開催報告
- 今後のイベント
- 天然住宅バンク近況報告
- 天然住宅ものがたり
～私の生き方×暮らし方

今月の表紙の写真は、7月27日に見学会を行ったU様邸のお庭です

【発行元】

一般社団法人 天然住宅
〒152-0031
東京都目黒区中根1-10-18
TEL 03-5726-4226
FAX 03-3725-5652
メール info@tennen.org

■お住まい見学会 開催報告 ②

8月3日 埼玉県川口市 Y様邸お住まい見学会

猛暑の中、20名以上の方にご参加いただきました。ありがとうございます。

Y様邸はフリー設計プラン。設計士とともに詳細な打ち合わせをしながら計画を進めていきます。Y様は始めの打ち合わせから明確な使い勝手の希望がありました。

Y様邸にうかがって思ったのは、モノが少なく、きれいに片付いているな～ということ。手入れをしっかりとされているのはもちろんですが、その秘訣は収納計画にありました。玄関脇にシューズインクローゼットがあり、そこには靴とご主人の趣味道具、お子様の部活道具が入ります。2Fは居室の他に、カウンターテーブルと本棚のある部屋があり、そこはご主人の書斎兼お子様の勉強部屋に。服は皆まとめてクローゼットルームへ。部屋が目的別に予め区分けしてあり、そのおかげで居室は自ずと置くモノが少なくなり、ゆったりと過ごせる空間になっています。暮らし方のイメージが明確でとても参考になります。



当日はご夫婦揃って見学会にご協力いただきました。せっかくなので、とスタッフが無理矢理記念写真を撮らせてもらいました！ご主人が笑って写ってくれることは滅多にないとのことで、貴重な写真となりました(笑)。2人ともとっても素敵な笑顔です。(田中竜二)



■「暮らし+リンクセミナー」開催報告

7月15日 「サルでもわかるTPP」 @ワンネスGAホール



7月15日、「暮らし+リンクセミナー」を行いました。この日のテーマは「サルでもわかるTPP」。ちょうど6日後に参議院選挙の投票が行われるということもあって、硬派なテーマにチャレンジしてみました。

講師の安田美絵さんは都内でマクロビ料理教室を主宰、食の改善で「化学物質過敏症」をも克服された経験を持つ食のプロフェッショナルです。経済や貿易のブロではないにも関わらず、食の安全に対する危機感から「TPP」の参加に対して疑問を感じ、行動を続けていらっしゃいます。

安田さんからは、特に食にまつわるお話をたくさんいただきました。日本とアメリカの食の安全基準の差、日本の食料自給率のこと、遺伝子組み換え食品の恐ろしさ等々、聞けば聞くほど驚きます。「TPP」で実現しようとしているのは、世界の基準に当てはめて自由な貿易をすること。それ自体は悪いことのように思えませんが、日本に入ってくる商品やサービスが、日本より低い安全基準に統一されてしまったら…、消費者としてはやっぱり心配です。

とはいえ、はたして日本の安全基準も信用できるものなのか？と、放射能汚染への国の対応を見ていて思うこともしばしばです。何ごとも人任せにできないなとつくづく感じます。暮らしの質を守るために一人ひとりができること、今後もこうしたセミナーを通じていろんな情報を提供していくことが、天然住宅にできることだと改めて感じました

ちなみに、最終的にTPPに参加するかどうかは国会で決定されます。交渉分野は21分野に及び、食品にいたってはその一部でしかありません。当面国政選挙はなさそうですが、政治の世界は難しいからといって距離を置くのではなく、普段の生活に引き付けて学び続けていく姿勢が大事だなと思いました。(鹿島伸子)

※次回の「暮らし+リンクセミナー」は10月5日。寺田本家の寺田優さんをお招きいたします。



今後のイベント

詳細はホームページでご確認ください

9/7 (土) お住まい見学会 @東京都新宿区

東京都新宿区にて、お住まい見学会を開催いたします。「当たり前を取り戻す家」をコンセプトに、都会の真ん中で持続可能なエネルギー中心で暮らしていらっしゃいます。住宅用としては国内初設置のペレット調理器、薪ストーブに地下貯水槽、太陽熱温水器、太陽光発電などエコ設備が充実。キッチンと奥様のワークスペースを連続させたり、地下室や土間のような玄関など間取りにも工夫がいっぱいです。代表・相根によるお話会も予定しています。10時半～12時、13時半～15時の2部制。場所は新宿区(都営新宿線「曙橋駅」徒歩5分)です。

9/13 (金) 「こどもに手渡したい天然住宅お話会」 by 田中優 @神奈川県逗子市

神奈川県逗子市の天然住宅のお住まいで、共同代表・田中優によるお話会を開催します。特に、子育て中やこれから子育てをしていく世代に向けて、天然住宅の話を中心に、暮らしのこと、食べ物のこと、これからの社会での生き方・お金の使い方など、優さんに語ってもらいます。お子さま連れOK。13時半～16時。場所は逗子市(横須賀線「逗子駅」徒歩5分)です。

10/5 (土) 暮らし+リンクセミナー「寺田本家に学ぶ 微生物がよるこび空間づくり」

「五人娘」や「むすひ」など自然酒造りで有名な千葉県香取の「寺田本家」さん。24代目当主の寺田優さんを招いて、「微生物と調和する暮らし方」についてお話しいただきます。微生物がイキイキと発酵する場合は、私たち人間にも心地よいはず。微生物が教えてくれる自然の法則、さらには人間本来の生き方など、深い学びの機会になることまちがいないです。14時半～17時半。場所はワッネスGAホール(山手線・京浜東北線「田端駅」徒歩8分)。参加費1000円(建て主様は無料)です。

※今後の予定 暮らしリンクセミナー(吉田俊道さん、前田歯科医院さん日程調整中)、12月栗駒伐採ツアーなどワクワクする企画をたくさん用意しています。たくさんのご参加お待ちしております。

天然住宅バンク近況報告

9月14日、総会を開催します。普段なかなか私たちの活動をお伝えできる場がありませんので、この機会に是非ご出席いただけると嬉しいです。

そして総会終了後、場所を移してイベントを開催します。前号でもお伝えしましたが、今年は田中優の自宅にも設置している、独立電源システム「パーソナルエナジー」

を開発した慧通信技術工業の栗田隆央さんをお呼びしてのイベントです。

パーソナルエナジーの凄いところは、電気を貯めてくれることに加え、「音を良くすること」なんだそうです。私自身、まだ体感したことがないのですが、プロのミュージシャン曰く「全然違う」のだそうです。その違いを、素敵なアーティストをお呼びして、彼らの音楽を通して、実験してみようという試みです。

音楽好きの方、音マニアの方、是非ぜひお集まりください！出資者の方は少しですがチケットの割引もあります。楽しいひと時を皆さんと一緒に過ごせたらとても嬉しいです。(井上あいみ)

天然住宅BANK Presents
OFF GRID
LIVE HOUSE 2.0
- 電費は自給があまりに多い
オラオラリットで最高のいらぬ暮らしへ -
2013.9.14 (SAT)
開演 19:00 - 22:00
開場 18:30
阿佐ヶ谷LOFT
Personal Energy
自給電力と
電力会社の電力で
音は
どれだけ違うのか
田中優 栗田隆央
登坂亮太 Yae 佐藤タイジ
お申込み・問い合わせ:
天然住宅バンク 総務: 井上・田中
http://www.tennenbank.org

バンクよりお知らせ

天然住宅バンクでは、組合員を随時募集しています。私たちの活動に興味を持っていただける方、まずはホームページをご覧ください。
<http://www.tennenbank.org/>

活動の詳細、出資方法についてもこちらに記載しています。

【次回の天然住宅バンクミーティングのご案内】

- 日時 9月18日(水)
午後7時～午後9時30分
- 場所 新宿 ASKビル 4F 会議室
(東京都新宿区歌舞伎町2-19-13)
- 参加費 無料
- 申込み先
<http://tennen.org/bankentry.html>
または、info@tennenbank.orgまで。

※途中参加・退席も可能です。

■天然住宅ものがたり～私の生き方×暮らし方～

愛着の持てる家づくりを

東京都世田谷区 千葉順二さん

普段はシステムエンジニアとして働く千葉順二さん。自然派志向の奥さまと出会うまで、健康にも環境にもまったく関心を持つことはありませんでした。「もともと天然住宅を知ったのも妻の影響なんです。何年も前に相根さんの講演を聞いた妻が、家を建てるならここがいいと思ったそうです。僕としては正直どこで建てても同じだと思っていたんですが」。

家の建て替えをするにあたり、いくつもモデルハウスを見に行った千葉さん。最後に天然住宅の見学会に参加し、確かに他の家と違うと感じたそうです。一番の違いは家に入った時の匂いでした。「それでもその時はいいなと思っただけでした。決め手は後日受けたコンサルティングですね。これは有料の相談で、必ずしも受ける必要のないものですが、結果的に話を聞いて本当に良かったです。職業柄マニアックに物事を見てしまう性格なんですけど、話のひとつひとつに説得力を感じました。給水管や排水管の素材にまでこだわっているところにもおもしろさを感じましたし」。

千葉さんは天然住宅を建てる決めてから、家に使う材を供給する栗駒木材(宮城県栗原市)に家族で足を運びました。「栗駒に行ったのは本当に良かったです。自分たちの家に、より愛着を持てるようになったし、現地で働く人の顔を見れたことも、とてもいい経験でした」。

実際に森の中に入り、自邸に使う梁を子どもの目の前で伐採した千葉さん。その姿を見た当時3才の息子さんが口にしたのは、「おとうさん、かっこいいね！」の一言でした。思いがけない息子の言葉に、本当に嬉しかったと話して下さいました。

一番居心地のいい場所

天然住宅を建てて丸2年が過ぎ、暮らしの変化はあったのでしょうか？

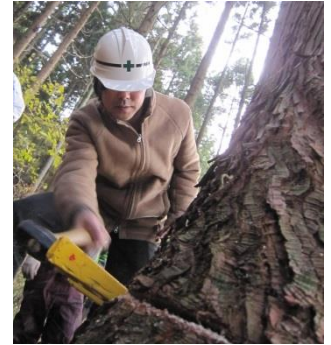
「家にいる時間がとても増えたように思います。今までは休日は外に出掛けることが多かったのですが、家にいたほうがリラックスできるんです。我が家は2階がリビングなんですけど、ダイニングテーブルのあるこの場所から、勾配の天井部分を眺めるのが好きなんです。太くて大きな梁、きれいな杉の板目、広々とした空間は見るだけで贅沢な気持ちになります」。

そんな千葉さん、最近ご自身で梁にハンモックを吊るしたそうです。「ここで昼寝をしたり、本を読んでいます。何とも至福な時間ですよ」と嬉しそうに話して下さいました。最近では奥さまの誘いで、それまで興味のなかった分野の講演会やセミナーにも足を運ぶことが増えたそうです。「以前は絶対しなかったことを、最近はするようになったんです。お家効果かもしれません！」とは奥さまの言葉。

天然住宅の家づくりを通して、暮らしによき変化を生み出すことができたのなら、こんなに嬉しいことはありません。千葉さん、これからもどうぞよろしくお願いします。

天然住宅スタッフより

普段は奥さまとやりとりすることが多く、今回久しぶりにご主人とお会いし、正直どんなお話を聞けるのかドキドキでした。もともと天然住宅の考え方とは対極的な生き方をされてきた千葉さんですが、天然住宅を建て、少しずつ考え方も変わってきたように感じました。自分なりの暮らしの楽しみ方を見つけれられているご様子、とても嬉しかったです。(井上あいみ)



千葉さんってどんな人？

奥さまと5才になる息子さんの3人家族。普段はシステムエンジニアの仕事をしています。以前はライダースジャケットを着て大型バイクを運転したり、スキーや音楽もやっていました。多彩な趣味をお持ちの笑顔の素敵な方です。



天然住宅
http://tennen.org